京城新報

人の一生は重き荷を負ふて遠き道を行くが如し急ぐ可らず

明治四十三年　紀元二千五百七十年
本紙定價　▲一枚金二錢▲一ヶ月前金卅五錢▲三ヶ月前金壹圓▲六ヶ月前金貳圓▲郵税一ヶ月十三錢
月曜日及び大祭日の翌日は休刊（日刊）
廣告料金　▲五號活字十七字詰一行一圓五十錢▲雜報欄特別廣告五號活字十七字詰一行金七十五錢
發行兼編輯人　高木久馬太
印刷人　松久伸一郎
京城西署西小門通（電話六六三）
發行所　京城新報社

鯨屋伊右衛門翁の鯨談（八）

●龍涎香の種々なる用途　捕鯨者に曰く、龍涎香は性芳香を有し久しきを經るも散失せず良好なる香料を製するに用ゐらるゝ爲め、品質純粹なるときは之と重量を同うする黄金よりも價貴し抹香鯨の體内に存ずるものにして産出一定せず、或は多年鯨漁に從事する者にして未だ一片の龍涎香だも見ざる者あり、或は僅に一年の間は百封度以上を獲たる者あり、抹香鯨の此香物を生ずるは吾人の胃病に等しく疾病より起るものなりといふ、蓋し其腹内に於ける龍涎香の所在と其食餌たる烏賊の小片の香中に含有するとあるとに徴すれば此說決して排すべからざるに似たり。千七百九十一年の頃英國政府は龍涎香の産出高を調査せんとしたりし際船長ゴフイン氏衆議院に於て陳べたる所に據れば氏はギーニアの沖合に於て一頭の抹香鯨を捕獲し其肛門より三百六十二オンスの龍涎香を獲て英國に歸り當時の相場一オンス五志なりしも氏は十九志六片にて一仲買商に賣渡したるに之を土耳古、獨乙及佛蘭西に向け輸出したりといへり、蓋し此等諸國の住民は當時龍涎香を以て壯陽劑なりとして貴重したりしもの丶如し。

千八百五十八年米國の一捕鯨船は六百封度龍涎香を獲て二萬五百弗に賣り、千八百七十八年同國の一捕鯨船は百三十六封度の龍涎香を獲て二萬三千弗に賣りたり、而して千八百卅六年より千八百八十年迄四十五年間に米國捕鯨船の龍涎香を獲たる總量は千六百六十七封度八分の七なり。

昔時歐羅巴の有名なる數多の醫師は龍涎香を藥用に供したりしも現時は專ら香料に用ゆ、亞弗利加の或地方及び亞細亞に於て藥劑及香料に用ゆるのみならず、食品の調理に用ゆる者頗る多し又亞剌比亞メッカに赴く巡禮者は恰もカトリック教信者が乳香を用ゆる如く之を社前に供して燻らす爲め、買求むると絶へず其需要甚だ多し英國にては含香藥、蠟燭、毬、煙、手套及び髮洗粉に之を混和し、向は麝香と混和して化装用の香油に用ゆ、龍涎香の眞僞を鑑別せんとするときは熱したる針を以て之を刺すべし、其眞なるものは忽ち馥郁たる芳香を放ち且つ成分の均一なる脂肪の如く溶解するも然らざるものは芳香なく又脂肪出でずといふ。

●（三四）水魚　此外鯨の種類には赤坊鯨橈鯨、海豚、スナメリ、ベルガ（白鯨）一角鯨など澤山ある、又鯨の内に水魚と云つて鯨商仲間で嫌ふのがある、是は鯨が一種の水腫病に罹つたものと見へて皮も肉も水分が多くて鹽漬するにも不向で、日を經るに連れ、水分が流れ出て重さは半減と爲り、腐も速いから直段も普通のもの丶七分の一か八分の一位に賣下らるゝのである。

●（三五）鯨の大敵鯱　は昔から言傳へられて居るが、或る時の航海に此鯱即ち逆戟鯨が脊美鯨を虐めて遂に殺して仕舞つたのを見た事がある、元來鯨の恐るゝ敵はダラムパスの種類でキルラーとオルカの二種になつてオルカの方が兇猛である、長二十尺から三十尺位日本の鯱といふのと同じであらうと思ふ脊鰭は後方に向ふて體の眞中に劍を逆まにした樣に立つてゐるから俗に逆戟と云ふ名があるので、其脊鰭は大きいもので、長五尺乃至六尺、幅一尺五寸乃至二尺位、先が尖つてゐる、口の端は圓く尖り出て脊の色は黑く腹は白色で齒は先が鋭く尖つて人間の拇指程の大きさのが上下合せて四十八枚揃つて居る、兩眼の上には眉の樣に白點がある、或時の事であつた、脊美鯨がニユーッと捕鯨船に近附いて來て毫も危險を知らぬようであつたが、よく見ると丁度鯱が三頭で一齊に彼を虐めて居るのであつた、暫時すると鯱が體を宙に揚げては、鯨の脊の上に墜ちかゝつて擲く樣に劇しい音を幾度も／＼させるそれは逆戟の尖つた脊鰭を鯨の脊やら横腹に打ち込んで、降參する迄打つて／＼打臘すのであつて、其の周圍の海面は白く泡立つて來た、そうするさ脊緊の脊美鯨も疲れて海面に仰向に爲つて仕舞つたが、三頭の鯱は力を合せて脊美の口を開けて第一番に舌を拔いた大きな舌は二噸即ち三千斤以上もあるが、斯んな惡戯をして鯱は去つて仕舞ふ、何樣此の鯱は單に鯨と喧嘩をして廻るのが目的らしく、何時も相手が死んで仕舞へば抛り放して棄てゝ去くのである、此肉は臭氣があつて食料にはならぬが、齒は堅いので彫刻物に使つて居る、一体で暴食を遣るものと見ゐ或る時胃の中を解剖て見たら、海豚十三頭分と膃肭獸十四頭分を呑でゐた。

日本政府の要求

淸國公使館に達したる通報によれば長沙暴動事件に關し我伊集院公使より淸國外務部に對し提議したる損害要求の内容左の如し

一、今回の事件は飢饉の結果にして兩國の交誼上成るべく湖南人の感情を害せずして解決すること
二、賠償の事は長沙領事の手にて實費調査の上決定すること
三、領事館の燒薬は事態容易ならざるも兩國の交誼に鑑み外務部より我政府に謝罪文を致すを以滿足とすべし

露國と海軍擴張

露國の海軍擴張は新國防計畫案が議會を通過すると同時に其一端を現出し來るべしとて列國海軍當局は大に注意を拂ひつゝあるが同國の製艦力に就き信ずべき筋にて調査する所によれば大戰艦を十年間に三隻建造し得る力ある造船所五箇處其他民間の造船所も略同一の製造力を有し居るとのことなれば新國防案實施の運に至らば十ケ年にて或程度迄は復舊することを得べしと

文苑

▲春畝公詩存拔萃

◎丁卯初夏與石川等諸兄話時事席上卽賦一絶以呈（京都作）

那翁元是起孤島。歷伏歐羅建偉功。此間男子豈空老。機決須揮一世雄。

俳句

●夏五句●　多田千春

曲らぬは君子の常ぞ今年竹
ゆれて居る岐阜提灯や椽涼し
初蚊帳や假の鈎手の長みじか

講談　大岡政談　越後傳吉　第三回　旭堂南陵講演

蠅に釣る蚊帳や晝聞く雨の音涼しさのかぎり舞ふなり水車

傳吉は早速旅の扮裝をいたして越後國賀田村を立出でました、道中の入用は餘るくらゐに渡してくれられたマア宿屋へ泊つて酒の一杯でも飲んで行つても宜いのだが、そんなことをする男ぢやない、村から出る金だから一文でも安く上げたいといふ傳吉の心、宿も普通の旅籠屋へは泊りません、朝早く立つて夜は遲くなつてから木賃宿へ泊る斯うして行きやア安上り、丁度武州足立郡鴻の巣へ入りました時分はもう疾に日が暮れて大分遲くなつてゐる、何所かに安宿はないかと思つて彼方此方を見歩くと黑く燻つた行燈に越後屋と書いた家がある、木賃としてございますから、大きに喜こび　傳「ア丶あつた、イヤ懐かしいのう、越後屋といやア乃公が國の名前ぢや、此所へ御厄介にならう……御免下せゑ」女「ハイれ來でなさい　傳「御免蒙りますから」ガタ／＼腰高の障子を開けて中に入ると薄暗き燈火が點て居ります、年齡は四十餘りの女　女「ハイれ來でなさい」傳「御厄介樣でございますが御厄介になりてゑものでございます」女「ア丶れ泊りでございますか」傳「ハイ」女「さうかいよくれ泊り下さいましたサアれ上りなさい……コレれ梅や、水を汲んで上げろよれ客樣だから　梅「ハイ」十六七になりました娘の子、盥へ水を汲んで與れました　傳「イヤどうぞ構はねへで、恐れ入ります、自分で洗つて上りますでれ構ひなく御厄介さまでございますが少々米がございますで、これをどうか……」女「ハイ、アノれ前樣、今晩のた米は要らねへでございます、今晩の御飯は妾の方で差上げますから　傳「ハイ」女「れ泊りだけで宜うございます」傳「ヤレあんでございますか、御飯のところはれ前樣の方で」女「ハイ、妾等の方で今日は志の日なんでござり升かられ供養として貴方に上ますかられ泊り丈で宜しうございます　傳「イヤマア結構なところへ泊り合せました、さうでございますか、ア、私へ御馳走下されますの……女「ハイ、佛樣の日でれ供養ですの……　傳「ア丶さうでございますか、有難うございます、それではろの佛樣へ一寸た禮拜をさして頂きますから　女「どうぞ禮拜つてやつて下さい、一人でも餘計に拜んで貰ひましたら佛は悦びますから」黑く燻つてございまする佛壇といふのも名ばかり、御燈明が上つてございまする、傳吉其所へ坐つて心から回向をして居ると、表の障子がガラ／＼　權「今晩は」女「ヤア誰方だね……オ丶珍らしい權四郎さんかね　權「どうだい皆變りはねゑか」女「有難う健康で居ります」權「ア丶結構々々思ひ出してもゾツとすらア、丁度去年の今夜だのう、到頭兄哥は殺られちまつたが、乃公も知つてる通りのあのとき共に殺られやうとするところだつたが危へところを乃公ア助かつて、兄哥の方が死んぢまつた、乃公だつて怖い恐ろしいと思つた日は今日だ、忘れやアしねへ、こりやア少ねへが姉御兄哥の生きてる中に口に合つたやうな物でも買つて佛壇に供へてくんねへ、頼むから　女「ハイどうもれ前樣、よくマア氣が付て訪ねてくれました、イヤもうのう權四郎どんの前ぢやが去年の今夜妾ア思ひ出しても身の毛が辣立ちますわい、到頭マアあゝいふやうな死にやうをしてくれまして　權「仕樣がねへわ、稼業が稼業だからいつ何時どんなことになるかも知れぬ斯ういつてる乃公が又翌日にもなつてヒヨクリ殺られちまつてるかも分らぬイヤその時には姉御頼むせ　女「そんな緣喜の惡いことをいふものぢやアないよ　權「こいつア少ねへけれども兄哥の佛壇に供へて貰はう、又來るから都合の宜い時には小使錢は持つて來るから　女「ハイ、毎度親切に有難う　權「左樣なら五貫文をガチャリ其所へ放り出して表外へ飛出した　女「れ梅や、あゝいふて親切に訪ねてくれるし、こんなに又れ錢をくれましたわい、何かれ父さんが好いて居た物でも買つて佛壇に供へて上げやうか……オ丶そりやアさうとれ客樣に早う御飯を上げねへか　梅「れ母ア支度が出來てる　女「さうか　傳「イヤ誠に御厄介さまでございます。



東京電報

▲伏見宮御歸京 十九日

伏見宮兩殿下には今二十二日神戶御上陸同午後三の宮御出發明二十三日午前九時御歸京の旨其の筋に電報あり

▲勸業債券景氣 勸業銀行にては豫定の如く二十日より新債券の發行に着手したり二十二日までの本店申込約七十萬圓にして可なりの好成績を收め得べき模樣なり（同上）

▲拓殖局の職員 拓殖局職員左の通任命せらる（同上）

內閣總理大臣侯爵 桂 太郎
拓殖局總裁被仰付
遞信大臣男爵 後藤 新平
拓殖局副總裁被仰付
遞信省管船局長 內田 嘉吉
江木 翼
兼任拓殖局部長
任拓殖局書記官 中川 健三

▲露觀光團入京 東淸鐵道附屬哈爾賓商業學校教諭引率の下に生徒約四十名修學旅行の爲め敦賀より來京したり（同上）

▲電線架設方針 遞信省にては電線電話架設方針に關し歐米諸國の都市に於けるが如く本邦の樞要都市には架空線を全廢し全然地下線となす事に決定したり（同上）

▲拓殖官制公布 拓殖局官制公布せられたり內容は內閣に隸屬し滿韓樺太臺灣に對する最高の機關にして總て既報したる通なり本日より施行せらる（同上）

▲義勇艦增建計畫 帝國海事協會にては今後義勇艦七八隻を建造する方針にて該資本金壹千五百萬圓の必要あり幹部は今年度中に適當の時機を見て募集に着手すべし（同上）

▲內務省兩課廢止 內務省大臣官房中の臺灣課、樺太課の兩課は廢止せられたり（同上）

▲馬政局官制改正 馬政局官制改正せらる陸軍大臣の管轄に移されたり（同上）

▲馬政局長官新任 陸軍少將淺川敏正馬政局長官親任待遇に任せられたり（同上）

▲貴賓の日光遊覽 獨逸攝政王殿下には本日日光遊覽遊ばさる（同上）

▲憲兵隊の大交迭 駐韓憲兵隊異動の結果本日內地憲兵隊將校以下に大交迭行はれたり（同上）

▲稅所子爵の逝去 稅所子爵は昨夜逝去せり（同上）

▲岡喜七郎氏來韓 前韓國內部次官現鳥取縣知事岡喜七郎は部務引繼其他の用向を以て廿三日東京發一[illegible]韓の筈（同上）

伯林電報

▲露國の爆彈騷 露國ワルクス警視總監に爆烈彈を投じたる者あり氏は幸に無事なりしも同伴者二名殺されたり（廿二日）

▲總理大臣無罪 丁抹前總理大臣プリスデンは多額の官金を橫領したる嫌疑として告訴中なりしが今回無罪を申渡されたり而して前內務大臣ベルクは罰金に處せらる

▲太沽占領紀念式 獨逸キール軍港にて淸國太沽砲臺占領十年紀念式を擧行し獨逸皇弟ハインリッヒ親王を始め同砲臺占領に偉勳ありたる砲艦デルファー艦長として現に海軍少將たるランス氏以下多數參列せり

▲普國外相の掛冠 普魯西國外務大臣フォンモルトケ內務大臣オルアルラムは辭職したり（同上）

平壤電報

▲水野內務參事官 內務省參事官法學博士水野鍊太郎氏は本日二番列車にて鎭南浦に向ふ廣梁灣鹽田視察の爲めなり（廿二日）

安奉と滿鐵本線

將來に於ける滿鐵本線が貨物線となり安奉線が旅客本位となるは自然の成行なり此の傾向は早くも安奉線竣功前の今日に於て現れたり試に滿鐵今期の成績表を見るに旅客の收入は一哩に付本線にて前年同期は八十四圓二十九錢なりしも今期に於ては九十三圓十八錢となり約一割の增加なるも安奉線にては前年同期の六圓四十八錢に比し今期は十圓五十錢に上り約一倍の增なりし之に反して貨物は同一哩に付前年同期の本線收入六十八圓七錢に對し今期の收入七十一圓八錢にして三圓一錢の增加なるも安奉線は同三圓七十七錢に五圓二十五錢にして今期に於て一圓四十八錢の增收を見一哩に就ての收入比較に於ては其貨物に於ても旅客に於ても盛況に比すべくもあらず雖も斯くの如く本線の旅客收入增大の遞減して貨物收入の增加する反對に安奉線の貨物減少に連れて旅客の增加を見るは注意すべき現象にして畢竟對日本との交通上海嫌ひの旅客が次第に安奉線を利用し始めたる結果なるべし若し夫安奉鐵道竣成を告げ目今の軍用線に代る曉に於ては此趨勢は更に著しかるべし

●全南光州紛擾落着 光州に於ては先般學校組合の統監府令にて發布せられて以來日本人會存續派學校組合新設派の二派に分れ物論沸騰して頗る紛擾を極むるものあり過日日本人會評議員補缺選擧に於て兩派の競爭激甚を極め其結果は日本人會派の全勝と成り後も依然紛料を惹し殆ど其止まる所を知らざる如き有樣なりしが松本木浦理事官は管內に如斯き現象あるを遺憾とし之が調査を兼ねて解決を促す爲め三浦屬を從へて去る十二日光州に着し雙方有志者に面接して種々調停及び諭示する所ありし結果さしもの紛擾も漸く解決を告げ愈々現下の日本人會を一旦整理したる上新に學校組合を組織すると成り之と同時に舊日本人會を解散するの運びと成りたり就ては日人會長は目下缺員にて事務進行上萬事不便に付理事官より同地松野德次郎氏に會長事務取扱を命ずることとせり尤も從前に於ては學校組合派に反對したる當時の日本人會派に在りては右の解決と同時に遽かに學校組合組織の爲め奔走運動するは主張として爲し難きに付同組合の組織は組合派之を應援するとし日本人會派は防害せざる程度に於て反對せざると成り茲に圓滿なる解決を告げたる由

●北韓貿易調査着手 北韓方面及之に關聯する露淸一帶の產業調査に就ては元間島派出所存在中着手する處なり其結果は統監府に引繼ぎ此頃一卷の冊子として販行せるが當時は世人の知る如く間島派出所に對する淸國官憲の壓迫甚だ極めて調査上頗る困難の事情ありし爲め未だ庶幾の目的を達するに到らず僅かに農業地質鑛山幷に商業方面の一部のみにして中止せり茲に於て統監府は本年度豫算に北韓貿易調査費を計上し汎く同方面の利源を攷究する事となり今回文學士鈴木信太郎氏に該調査を囑託したり同氏は元間島派出所に在りて同樣の調査事業に從ひ大に經驗を積める由なるが目下歸朝中なれば近々渡韓の上統監府と打合を爲し直ちに調査に向ふべしと云ふ

●慶南蔚崎燈臺新設 關稅局告示第百十三號を以て左の如く燈臺の新設を發表さる

一、韓國慶尙南道蔚山港の東側をなせる半島の南端蔚崎に建設したる燈臺に於て隆熙四年六月二十五日より日出まで點燈す
但在來の燈竿は同日限り之を撤去す

一、燈臺の位置は日本海軍水路部刊行海圖第三百五號に依れば左の如し
北緯三十五度二十九分三十九秒
東經百二十九度二十六分四十秒

一、燈塔は混凝土造八角形にして白色に塗り其高さ基礎より燈火まで二十尺なり

一、燈火は第六等單閃白色燈にして每十秒時間に一閃光を發す

一、燈火の中心は高潮平均水面より高さ百四十三尺にして晴朗の夜に際し水面上十五尺にある觀測者は十八海里の距離に於て始めて之を見る

一、燈火は南十五度西より西及北を經て北四十五度東迄二百五度間を照射す但明弧は海上より燈臺に向て方位は磁針を以て測定す

●既定の產業獎勵費 農商工部本年度豫算中產業獎勵費十三萬余圓の使途に就ては當該局課交涉を了し既に決定せるものは船舶補助約七萬圓水產組合補助一萬五千圓農產物品評會約四千圓蠶業傳習所補助は八千四百三十圓種蠶育補助千四百五十圓柞蠶種育及桑園經營補助千圓物產品評會其他四千七百圓等なりと

●山根囑托の講話會 仁川民役所樓上に於て廿三日午前十一時三十分より韓廷衞生顧問山根正次氏の衞生に關する講話ある筈なるが傍聽隨意なり尙ほ同氏は當日一番列車にて極暢驛着市中の視察を終へたる後前記の講話會に臨み午後二時より實業學校に於て韓人に對する同樣の講話ある筈

●大臣次官等の協議 二十一日午後統監府に於て大臣會議を開ける後各大臣は或る重要問題に關し某所に會合して凝議する所あり其決議を齎らして趙農相は同夜石塚參與官を官邸に訪問したるが二十二日午前九時頃より石塚參與官邸に於て各次官連中何事に就てか協議する所ありたり

●侍天敎の支部設置 安城郡に於ける一進會支會は一時相當の勢力ありしも過般同地に大韓協會の支部設置せられてより之に壓倒せられて殆んど全滅の有樣となりたれば同地支會長は頹勢を挽回せんと考へたる末同地に未だ侍天敎なきを幸ひ今回侍天敎支部を設置し以て大韓協會に對抗することゝなれり

●救世軍の富籤興業 忠南結城郡廣州の片汝聲、黃善必、張順益の三名は同地方に於ける救世軍の任員なるが維持費募集の爲め每年陰曆四月二十五日に富籤を興業する由にて本年も例に依りて過般之を興行したること發覺して三名とも逮捕せられたり

●姜基東楊平に出づ 十八日午後八時頃賊魁姜基東は部下數名を率ひ楊平郡南絡面牛川里廣川東北方四里に至り一時間程休息し部下は各自洋銃を携ひ同地に於て雜品を掠奪し何れへか立去りたりと

●公園引繼ぎ委員會 旭公園引繼に就き二十一日午後七時より京城民團に於て委員會を開きたるが理事者提出の原案通り千八百圓を發起者へ交附することに決定したり

●大韓協會建議準備 大韓協會にては寺內統監來任と同時に何事か建白する所あらんと目下重なる會員集會して準備中なりと云ふ

●仁川監獄茶話會 京城監獄仁川分監にては廿一日監獄官茶話會を開きしが出席者は星分監長以下十九名にして先づ淺井監獄醫の監獄衞生に關する講話あり後星分監長の精神修養と信敎と題する演說ある筈なりしも時間の都合にて次會に讓り散會せりと

●蔚山附近の挿秧 慶南北の米產地と稱せらるゝ慶州蔚山間の水田は挿秧の期に達し居たるも降雨なきため河川悉く涸渇し農民等大に憂慮し登覽を望み居たるが頃日來の降雨にて漸く兩地間の水田は全部挿秧を了したり

社會小言

▲ルーズベルト凱旋す、紐育灣頭二十一發の最高軍禮砲轟き、一百萬の士女狂喜して彼を埠頭に迎ふ。

▲デウエー提督はマニラ海戰の英雄なり、彼れ往年凱旋して紐育灣頭に現はる、當時彼に與へられたる歡迎は米建國未曾有と稱せらる、而かも今回のルーズベルトに及ばざる遠し

▲猛獸狩、記者は前大統領が獅子幾頭犀幾頭を倒せしやを知らず、而かも彼は前人未だ企てざるの壯擧を敢てしてヤンキー魂の雄大なる所以を發揮したり。

▲彼は猛獸臭き戎衣其儘舞臺は異なる歐洲に現はれたり、彼の品良き傍若無人さは歐洲全土を動かしたり、諸帝王諸政治家爲に閉息せる倘アフリカの猛獸に似たり。

▲彼は一個市民の身を以て文野二大陸の征服に効を奏す、紐育の大歡迎蓋し故なるかな。

▲前藏相坂谷博士我三大弱點を指摘し大日本帝國の未だ一等國ならざる所以を論ず。

▲博士曰く我に學問と文字の獨立なし我に兵器製造の獨立なし、我に經濟の獨立無しと。

▲滔々たる國民自ら欺いて我を一等國なりと信じ、三大弱點を有する現狀に甘んじて小康を貪らんと欲す、博士憂國の言や傾聽に値す。

●石塚參與官招宴 石塚參與官は廿二日來京中の川口大分縣內務部長を別府溫泉に遊び川口氏と親交ある趙農相外數氏を自邸に招き晩餐會を開けり

●皇恩社員の講演 東京京橋に本社を置く皇恩社の韓國特派講師菊井鶴棠氏は二十四日午後七時より商業會議所樓上に於て精神講話をなすと云ふ

●仁川病院新經營 仁川病院の經營者なる長尾乙二氏は今明日中醫學士の院長を連れて來仁來月一日より民團の手を離れて個人經營に移るべしと

●石塚參與官微恙 石塚參與官は微恙の爲め昨二十二日は出廳せず自宅に於て諸般の事務を見られたりと云ふ

●原田主筆の退社 京城日報主筆原田豐次郎氏は近來健康勝れざる爲め今回退社して東京に歸り靜養する由なり

●原田法學士別宴 原田京城日報主筆退社歸東に付同社員並にソウルプレス社員は廿日花月に送別會を催ふせり

寺內統監と官邸

寺內統監は龍山の官邸に入らるゝとの世評頻りなるが是は畢竟憶測に外ならず執務上大に不便を感ずるを以て依然南山の舊邸を使用せらるゝ由因みに山縣副統監は未だ何處とも確定せざれども多分元義和宮邸ならんと云ふ

●東拓漁場紛擾 平安北道に於ける東拓會社の漁場にては漁業下請負者側と雇漁船間に紛擾を惹起し東拓會社は不正事務員數名を解雇して僅に事なきを得たることは既報したるが一方に於て會社は淸國密漁船を驅逐しつゝある間に會社の雇漁船にあらざる日本の漁船は會社の漁場へ侵入して漁業し茲に又會社側と是等漁船間に紛擾を惹起し會社雇漁船は社外漁船を驅逐することに奔走して漁業は殆んど手に就かざる有樣なり然るに今回韓海の水產に精通する統監監水產技師林駒生氏が同地へ出張するや社外漁船は林氏が先年韓海水產組合理事たりし頃の例を引き我々は韓海水產組合より今年も現に免狀を得て沿岸の漁業をなすに何の憚る所やあると主張し林技師等は此地方は漁業法に依りて東拓會社の獨占に歸したることを說諭すると雖も漁夫等は聽くべくもあらず漁場は益々紛亂を極めつゝあり是れ從來韓海出漁船は水產組合の免狀を受けて沿岸到る所自由に漁業する慣例なりしを以て無識可憐の漁夫等は例年の如く漁業せんとするが故なり而して南韓方面の出漁者は兎も角なれども平安北道の如き遠隔の場所へ出漁する者は日本を出船する時各其地方の漁業に適應する準備をなすを以て今若し該地方に於て漁業する能はざるときは今季の漁業は全然無收獲に歸するなり我當を以て觀るときは東拓會社は今年十万圓の小資本を投じて極めて少規模の試驗的漁業をなすに過ぎざれば沿岸百三十浬に亘る廣漠なる漁場に二百隻や三百隻の漁船が漁業したりとて會社に於て毫も損失する所なかるべければ彼等社外船をして今年丈け自由に漁業せしむるが相互の爲めに得策なりとす（龍岩浦通信）

●仁川居留民會摸樣 仁川居留民會を一昨廿一日午後九時より開會したるが出席議員は豐田、竹田、津、稻田、奧田、市川、伊東、加藤、平山の八氏にして奧田氏議長席に就き議事に入らんとするに先ち仁川病院經營變更に關する件並びに前仁川病院醫員に對し特別慰勞金として九百八十三圓を給與の件及び仁川病院經營者長尾乙二に對し民團より年額二千四百圓を補助の件は協議會に移す旨を宣して傍聽を禁じ橋本副理事官より監督官として同病院經營に關する訓示あり凝議の後本會議を開き右三案共原案の如く可決確定して散會せしは午後十時過

●京龍合併後の民團 京城龍山兩民團が愈七月五日を以て實行さるべしとは昨報の通りなるが右は二十三日の統監府公報を以て發表さるべく實行後は從來の關係により便宜上現龍山民團を龍山出張所とし京城民團新市街出張所を他に移轉し出來得る丈け事務の統一を計り漸次之を廢止する筈なりと因に民團議員定員を三十名とする事及助役二名を置く事を得等の事は民團側の希望通り認可さるべき模樣なるも民團立高等女學校を統監府立とする件は豫算の都合上議會の協贊を經るの必要あるを以て此際其運に至らざるべしと云ふ

●全南米穀と警備船 從來多島海上に於ける大小の島嶼に在りては海上の警備充分ならざりし爲め海賊の出沒常ならず從つて其島民は收獲したる米穀を何時掠奪せらるゝやも測り難き恐れあるに付島民は其收獲を了ると共に木浦に搬出して放賣するの風ありしが昨冬來優勢なる警備艦艇の縫ふが如く多島海面を疾走するより僻陬の島民も其保護を受けて海賊の蹤跡を絕つに至りしより米穀の如きも安んじて其貯藏を爲し騰貴の機を見て放賣し得るに至れりとて孰れも日本官憲に對し感謝しつゝありと云ふ

●平壤韓銀營業近況 韓銀平壤支店に於ける營業近況を聞くに最近に於ける貸出金額は三十六萬圓內外同預金額は三十二三萬圓の趣にて貸出金の支途に就ては其重なるものを穀類とし第一には米次は粟なるが其他に工事等に出資せるものあり概して先月中に比して貸出額は增加せる由なるが今後の狀況に就ては本月中は變化なかるべきも來月に入りては一般の取引の閑散なる時機に當れば隨て同營業狀況も自然閑散なるに至るべしと云ふ

●京城民團民會開會 京城民團にては昨二十一日の調査委員會に於て旭公園を引繼くことに決定したるを以て二十三日午後七時より民會を開き該問題及び右に伴ふ四十三年度豫算更正の件を附議することに決定す

●仁川商會役員改選 仁川商業會議所議員半數改選は去月二日結了したるを以て來月一日總會を開き會頭及び副會頭並びに常議員の互選を行はるべしとなり

●ロスチャイルド氏 英國の富豪ロスチャイルド氏の令息は去る二十二日午前八時五分新義州發列車にて入京ソンタクホテルに投宿せ[illegible]

●明石司令官の執務 新任駐韓憲兵司令官明石元二郎氏は二十三日より執務する筈な[illegible]

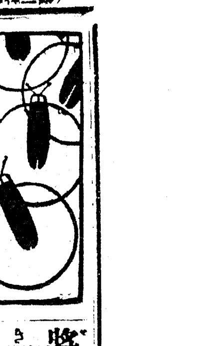
●李學部大臣の歸京 西韓巡視中の李學部大臣は二十二日午後六時二十五分南大門着歸京し[illegible]

●明石司令官の移轉 明石憲兵司令官は今二十三日龍山參謀長官舍を引拂ひ倭城臺官舍に[illegible]

●最上主計正出張 最上二等主計正は北韓羅南建築工事檢查の爲め二十一日同地に向つて出發し[illegible]

●河合主計正着任 陸軍倉庫[illegible]二等主計正は去る二十一日着任[illegible]

▲治外法權▼ 東電に曰く寺內統監家族を携帶して來任すと、モシ當なら大に賀すべき事だ、統監邸は神聖に近かるべきものだ、ソレが來はポン屋の如くあつた▲酒も嫖も他の遊びも聖人がつて禁ずるには及ばぬ、併しソレには相當の場所がある統監邸を汚すには及ばぬ▲家族と云へば寺內夫人が來る、夫人が來れば八重時代の空氣が一掃される[illegible]成つたら貴婦人墮落の種が盡き[illegible]新たに駐韓憲兵司令官に補せられ[illegible]石が歸つて來た、彼は三十七八年に戰場には遠い歐羅巴に在つて功[illegible]になつた、人、彼れに殊勳の謂れ[illegible]へば答へずしてハアーハア▲明石[illegible]寸見て愚なるが樣な男だ、併し此[illegible]人の癖に政治も外交も中々解して[illegible]之れは彼が外國で苦勞をしたセイ[illegible]思ふに之から寺內の爲に股肱とな[illegible]働くものは彼だ、妊濃須らく自愛[illegible]しだ▲岡が鳥取縣知事に左遷され[illegible]ねたとか辭したとかの噂がある[illegible]はホントにせぬ、岡もソレ程の馬[illegible]はない、加減乘除位は知つてる筈[illegible]間にして異に不平ならば潔く[illegible]活を止めて在野黨に飛込み議會[illegible]るが良い、と云つてると岡が內[illegible]ひ謝罪をして受任したと云ふ報[illegible]つた、之れでメデタシ、メデタシ▲大阪朝日の世界一周團は目下羅馬の古蹟見物をして居る、世界の京都、世界の本山を見た竹冷の句が聞きたい▲日本人の間に出來た子は雜種チャナイ、[illegible]先に望小太の言ふ同じタカマガハラ、トライブだ。



一日二千五百圓

▽力士の油を絞らんとする秋田某……中賣株金八百五圓五十錢……相撲協會幹部に注意す△

日露戰爭の副産物として滔天の勢を以て頭を擡げ來りたるは武士道鼓吹者なり、浪花節も講釋師も義太夫も甚だしきは門付の乞食藝人までも武士道鼓吹者を潜稱するに至つた、社會に惡影響を及ぼさゞる限りは敢て咎むべき所はないが苟も此れを看板として實質以上の收入を企み世人を瞞着して其の財嚢を絞らんとするものあらば此れ實に社會を賊するものなり、聞く所に依れば近日明治町拓殖會社敷地內に於て興行せられんとする**東京大相撲**一行の勸進元等は曾禰前統監が在留民間の風紀廓淸武士道鼓吹の一端として在任中既に已に金圓せられ居たるものなるが今回の辭職となりしより內旨を我々に下されたるのみか**其の筋**の**內命**もあり以て同一行の來城を見たる次第なれば云ば**千載一遇**の好機にて此の**機を逸**せば再び斯くの如き大角力を此の地に觀んことは出來まじと吹き散らし居れり、而して开は何んの必要あつて然るかと云ふに**表面の勸進元**は天眞樓主人伊藤組主人の兩者なるも**黑幕**には彼の仁川の**怪商人秋田**某なるものあるは一般人の夙く熟知する所なるべし渠近來商人としての化の皮を剝がれ眞面目に對手にするものなきより此所に**相撲興行**を思ひ立ちれ人好しの**荒助大人**に肝煎を**泣き附き**茲に**斯界の巨星**常陸山梅ヶ谷等の滿韓巡業とはなりたるなり然れば彼れは此れに依りて少くとも巨万の**暴利**を攫得し刻下の急厄を免れんと企圖し扨こそ其の筋の內命で候の前統監の內旨で候の千載一遇の好機で候のとは言ひ布らし人氣を煽り立てん**計畫**に外ならず**友綱**や常陸山梅ヶ谷等にして之れを慮からず一時の好人氣に乘じ**近き將來**に於て馬關や門司やと異るなき**巡業地**となるべき當地居留民に惡印象を貽すべく努めず勸進元の術中に陷り何事も其の爲す儘に委せんには再巡業に際りて彼の大坂相撲の轍を踏んで**失敗**を見んこと疑ふ可らず**力士の本職**は角力を取るにあり彼の大力士にして**堂々土俵**の上に**戰陣**を張らば其の筋の內命荒助大人の內示武士道鼓吹等の化粧を施さずとも滿城の士女は**蝟集**せん然らば一行幹部連の執る可き方針は堂々たる角力振りを可成安價に觀せるにある**親切安價勉强**は角力道にも又必要なり更に京城は他國でないに於てれやである、頃日宮內府より臺覽角力**一日**の入費を問ひたるに秋田某は**實費二千五百圓**と答へたりとか秋田某の興行は一度限りならんも力士連には已來好個の**得意場**たる京城人士に一度限りで**愛想**を**盡**かされ東京大相撲の名に累を及ぼさゞらんの注意ありて可也

枕探し女の色男

▽窃んだ指輪は其方へ

本月十八日の紙上に井門樓の枕探しと題し大和町三丁目料理店井門本店の下女**廣井きよ**(二五)が枕探しを爲したる事實は當時報導せしが其の後嚴重取調中なりしが今回きよが自白に因ればきよは元來本町九丁目小說貸本屋峯岸某の世話に因り旅費并に小使錢迄同人に立替貰ひて**渡韓**し直ちに**井門樓**に下女に**雇**しものゝ由なるが或日の夕暮れ仕事を了り九丁目の貸本屋に遊びに行かんと出掛け**途中**渡韓後日淺くして道も覺へ居らざりしにぞ本町九丁目ブリツキ細工職**蘆田鐵之助**(二五)に**出會**貸本屋は何處なりしかを問ひしに僕の隣りだから敎へ行らんとのことに連れられ行きしに**新町遊廓**裏山の附近に至り貸本屋には連れ行くが生れは何處で名を何んとし**身の上**を聞きしより渡韓の事情話したるに大に**同情**を表せられ妻にしてやらうと云れ天に昇らん許り喜び遂ひ轉ひ寐の**草枕**に**山靈木精**を**驚**かし深き契を結びたる其の後は人目を忍んで便所の後や山の上等にて屢々情を通じ居る內鐵之助より非常に切迫した金子の要件起り**十五圓**の爲め首か切れる樣な場合の救助方を**相談**せられ身に及ばぬ金高なるが自分如きは**珍無類**の**面相**にて再び戀人見付るは此世に於て六ヶ敷いと思ひ**惡**るいとは**思ひ乍**らもよし女郷の金指輪を盜み鐵之助に渡したりとか鐵之助は前科付の由にて目下は妻子ある身分なりとは扨も困つた色男かな



女振り

三巴酒店主婦 堀尾ちよ子

堀尾潔君は三巴商會の出資者の一人として本町一丁目の三巴酒店を管理して居られる、明治四十一年五月五日渡來入城せられたのであるとか、明治元年十二月の生れで壯年實業家の一人である、ちよ子さんは明治五年七月の生れで今年は花ぢやものと唄はるゝ三十九歲であらるゝ、御產地は唄の文句を其の儘の因州因幡は鳥取縣東伯郡西倉吉村岩倉町である、堀尾家に嫁がれたのは二十八九年の頃であつたと聞く、潔君は內心頗る慾掛の質であるに拘はらず表面は又極めて性急の所があつて何か事があると怒鳴り飛ばす勢の猛烈なる到底眞正面から受け止められるものでない、ちよ子さんも此の場合は默して成り行きを觀察して居て扨後から其の叱られたり怒鳴られたりした者に對して慰撫策を講ずる、一例を擧げると斯うだ「善く和郞さん我慢して吳れたね、唯彼れ丈けで跡には何にも殘さん仁だからね決して氣を惡くして吳れでないよ、アヽ左樣さもね、和郞さんが惡氣でしたのでないのは旦那だつて知つてるんだよ」と云つた調子である、目下は潔君が病氣で鷺梁津の荒井さんの別莊に出養生をして御座るのでちよ子夫人看護と云ふも大袈裟だが何かの御世話に付いて行つて御座る、川柳子曰く「看病が美しいので匙を投げ」と、併し此の邊の御注意はあることゝ信ずる、長男健三君は十一歲。

●**橫領罪控訴棄却** 愛媛縣平民咸鏡北道鏡城郡會寧拱北面黑房住大工職藤田平松(三二)は本年三月上旬會寧邑西門外料理屋中川たけ方に於て遊興せし際懇意となりし酌婦大平てるの所有の手風琴を見て少し破損し居るに付修繕し與ふ可しと持ち歸り他人の名義を以て入質し同月十六日同所西門內木挽職木崎小四郞所有の懷中時計を一時借用し同入質商同職三井建一より木綿茶縞裕羽織一枚外數點を預り中入質し三月廿四日淸國間島地方へ逃走せしを其筋に引致され咸興地方裁判所淸津支部に於て懲役七ヶ月に處せられたるを控訴中廿一日京城控訴院に於て棄却さる

●**仁川雜事** 一昨日午前十時頃仁川本町二丁目松尾屋三方格子戶より內部の硝子を棍棒にて打破り屋內に掛けありし印袢天を窃取逃走せし狐鼠泥あり ▲仁川寺町一丁目雜貨商小川澈太郞方に二十一日一韓人が卷煙草四百本入を買つて吳れよと持ち來りしにぞ其出所を詰りたるに何れともなく逃げ失せければ其旨仁川署に訴出でたりと

●**龍山小學校の取消** 有婦の教員有夫の教員と通ず、と題し掲載したる記事に對し左の通り取消申込みありたるに依り據なく取消す

拜啓貴社新報第四百三十五號雜報中有婦有夫云々御掲載相成候處囑託教員松本富衛は奉職替の都合により依願退職せるものにして訓導坂井りきは近來兎角健康勝れざる爲め依願退職せしものなれば右は全然事實相違に付本文御掲載御取消相成度得貴意候也

明治四十三年六月廿一日 龍山尋常高等小學校印

京城新報社御中

●**以後は禁酒せよ** 大和町二丁目坂本某は泥醉して二十一日午後十一時過ぎ日本刀を拔放し或は妻子を毆打し器物を毀す等亂暴せるより警官出張取り鎭め就寢せしめ覺醒の上說諭を受けたとか質の惡い酒は禁めなさい

●**泥棒のムダ骨折** 大和町三丁目百十七番戶梶原末太郞氏方には二十二日午前三時三十分頃賊の忍入り居りし事發覺せしより大和町派出所に屆出しに付警官出張取調しに既に逃走後なりしも夕暮頃忍入り居る者ならんと

●**通行妨害と放尿** 古市町十一番戶宇佐美貞次郞は吉野町入口に於て通行を防害し長谷川町二丁目口入屋小林方雇人山本萬次郞は街路に放尿したる廉にて西部署に於て孰れも說諭さる

大相撲彙報

▽釜山の初日

▲**釜山の槪況** 同地初日(廿一日)の入場者は四千五百人に上り爲めに場所狹隘を感じ急に五十坪の張出を爲したり開場午前七時午後一時より本勝負に入り午後六時廿分打出したるが當日の重なる勝負及び二日目取組左の如し

勝 負 勝 負
國見野(預)雷ヶ浦 八甲山 日本海
佐賀海 石山
番外 好
紫雲龍(分)黑瀨川 玉椿 大湊
中入後
紫雲龍(預)梅の花 黑瀨川 近江富士
八嶋山 錢川 玉椿 大野川
大湊 大蛇潟 土州山 龍ヶ崎
朝汐 兩國 駒ヶ嶽 鳳
梅ヶ谷 碇潟 常陸山 國見山

二日目取組(廿二日)
八甲山(大蛇潟(黑瀨川(近江富士
佐野山(紫雲龍(龍ヶ崎(錢川
八嶋山(碇潟(大野山(兩國
梅の花(鳳(士州山(玉椿
朝汐(駒ヶ嶽(常陸山
大湊(國見山(梅ヶ谷

▲**京城へ乘込** 釜山は好人氣なれども斷じて日延をなさず二十三日朝出發午後八時十分南大門驛着二十四日秘園に於ける臺覽角力に臨場と確定せり

▲**秘園の取組** は重なるもの七十組にて午後一時より開始し皇帝同妃太皇帝同妃には各率番に認めし取組表を捧呈する筈也場所は廿二日全部竣成す

▲**新巡業地方** 仁川打上後直ちに大連に出で同地興行後內地に引返す豫定なりしに平壤安東縣兩地より申込みありたれば更らに兩地に於て各二日宛興行の上大連に向ふ事となるべしとか

▲**濱風の下仁** 相撲年寄濱風は仁川に於ける興行準備の爲め二十二日釜山より直に同地に向ひたる筈なり

▲**小常陸來城** 人氣力士小常陸の一行に加はり居らざるは一派人士の甚だ遺憾とする所なるを以て協會にては同人の負傷略ぼ全癒せしより招致したれば兩三日中に到着すべしと聞く

前頭 兩國鳳大の川

▽奇手縱橫角力界の華

▲兩國梶之助は曾つて大坂で國岩と稱し小結迄進み而かも其年の本場所で土附かずの好成績を占め、次場所には關脇にも昇進する筈であつたものを大阪角力界の墮落を憤り蹶然として東京に趨き常陸山の弟子となつて出羽の海部屋に這入り兩國と改め幕內に附出され荒岩、太刀山等の大敵を喰つて人氣を博し、名力士として玉椿と共に並稱せられて居る、されど彼れや年既に三十六最早老境に近いたのは惜む可である ▲鳳谷五郞は實に力士中の花である年漸く二十四歲身長實に五尺九寸体量二十七貫の巨軀を有し、腰のネバリ强く奇手縱橫、而かも敏捷極りなく稀代の好力士である、只餘り勝を急ぐ爲め時々失敗を招く事がある、併しそは彼れの未だ若き處で、追々技倆圓熟すると共に此缺點を矯正し軈がては大關の榮位に昇る事受合である、彼れは下總の生れで故鳳凰の弟子となり三十六年五月に初めて土俵に上り四十二年一月入幕し爾來二場所續いて大關駒ヶ嶽を倒し拔群の成績を現して本年一月一躍關脇に昇進したるも貫祿負をしたものか意外の不成績にて前頭三枚目に陷落したるも去る五月場所には二つの星を殘し而かも大關駒ヶ嶽を三度び砂に埋めたれば來場所には前頭筆頭か或は小結に昇進するであらふ、彼れは意氣頗る壯烈にして所謂男らしき角力で氣で勝つ事が多い、曾つて京都、福岡等で催された東西合併相撲で現今の大阪力士中一人も彼れに蹴したものはない大錦や八陣(西昇)岩友、陣幕杯は勿論近頃勝手に橫綱を張つた大木戶杯も二度共分秒の間に倒されて居る事は好角家の記憶に尙は新なる處である、されば大阪力士を能く知れる滿韓に於ける彼れの人氣は一層素晴らしいであらふ。▲大の川甚太郞は年既に三十二歲軀幹又矮少なれども頗る精敢なる力士にして得意の叩込みで國見、大刀の如き大敵さへ喰つた事がある、數年前京阪合併相撲の際も最終日に大坂方の大關岩友を叩込んで全勝を博した事もある、彼れは今以て三役の實力は充分あるが只場所運が惡い爲め前頭筆頭迄昇進して爾來常に幕內中軸に居て西方を惱まして居る、只愛嬌に乏しき爲めに人氣の少なきは氣の毒である。

◎**時事俳評** 千春

△統監の家族携帶
老夫婦樂しみに田草取るなり

△德壽宮內の宮殿
內外の堀は涸れけり蟹の峯

△東拓の移民規定
こん立の馳走ばれなし蓮見客

△旭公園の引繼
公園や水からくりにつどう人

△民長殿の秘め事
川狩りや川の中なる忍び足

今日の運勢

六月廿三日舊五月十六日二黑友引巳未除△一白 繼多き日諸事手控への事堅く保證受印を禁ず△二黑 新事見合せの事尙盜害紛失の恐れあり沒要領の提言要求に遭ふあり△三碧 日新事旅行貸借委託談議の事効驗なし△四綠 取引及金品授受調進ふし家畜の事注意すべし△五黃 世話保證引受を禁ず尙旅行見合せの事△六白 亨通の日大抵吉殊に農鑛業に妙△七赤 貿殖の日賣買取引進んで吉結婚飼畜屆入は見合すべし△八白 旅行轉宅轉業方針替換替に吉家庭內些少の煩累あり△九紫 依囑會談談合詣願に吉音信異事を齎らすあらん

廣告

本月二十四日御苑ノ公衆縱覽ヲ停止ス
但當日雨天ナレバ翌日停止ス
隆熙四年六月廿三日
宮內府御苑事務局